

●巻頭のことば(今月は野呂さんです)←

皆さんお疲れ様です←

今回の巻頭の言葉を頼られました野呂です。ジャンルを問わず何でもといわれましたが、いざ書くころと思うとなかなか思い立ちませんでした。そうだ「最近ハマっているものを書いてみよう」とペンを取りました。自分は、週末に友達とごはんを食べに行くのが、何よりの楽しみに←

なっています。中でも最近のどハマりは、「パンケーキ」です。←

🍳 旨いパンケーキを求めて東△西△、都内を中心に主に県外のカフェ巡りをやっています。フワフワ、モチモチのパンケーキはなんとも心癒される存在で、仕事をする←



うえでの活力源の一つにもなっています。←

ところでパンケーキとホットケーキは似ていて異なるものと←

知っていましたか? ←

うんちくはまた次の機会で、それでは。←



●現場だより←

*現場名 【特別養護老人ホーム清明園移転新築工事】 *発注者：近藤建設株式会社←

*施工構成・・・型枠工事 土井工務店(坂本職長) 解体工事 大久保興業(大久保職長)←

清明園は八王子市高尾地区に建設された特別養護老人ホームで、その移転に伴う新築工事です。←

躯体工事は13ヶ月を擁し今年11月上棟しましたが、まだ外構の一部を残しています。←

工事は近藤建設から当社へ発注され、施工は近藤物件の8割を占める施工実績を誇る土井工務店さん、解体工事は大久保興業さんが担当しました。躯体全工期を通して無事故無災害で上棟しました。←

RC造3階建てですが、1フロア5,000㎡を超えるボリュームのある建物であり、サポート等使用機材の削減及び後施工用の空間確保を兼ねて、*FSデッキ工法(脱却出来る)を採用し、一定の目的効果がありました。12月3日に発注者である近藤建設の社長様と協力会パトロールを行った際には、躯体工事(型枠・解体工事)の労をねぎらって頂きました。中でも型枠の施工者である土井工務店の話題が多く出て、近藤建設からの信頼を感じました。(*FSデッキ=フリースパンフォーム)←

躯体工事完了←



宇佐美近藤建設社長



土井工務店
土井正美社長←

近藤建設とは←

先代社長からかれこれ20年を超えた付き合いです。いつも指名して頂いて、ありがたく思っています。清明園は遠距離ではありましたが、監督さん達とも意思疎通が良く取れて余り苦を感じることなく上棟出来ました。2階部分で施工したデッキは従来のデッキとは異なり、前準備に意外と手間がかかり、型枠工事側としては、在来と比較してメリット感が薄かったと←

思います。しかしその他はのびのび←

仕事が出来、感謝しています。←